



ご質問がある方は
ぜひ近くの図書委員に
お声がけください

品川女子学院
図書室発行218号
2022/10月号



B棟オープン！と久しぶりの文化祭一般公開で活気に満ちた9月でしたね。文化祭では仮図書室で古本市を開催しました。有志が描いてくれた絵を図書委員がラミネート加工して葉を作り、来室した小学生と買ってくださいました方々へプレゼント。とても喜んでもらえて読書の秋を満喫してもらえる良い取り組みとなりました。

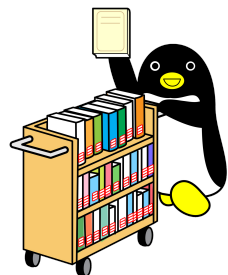
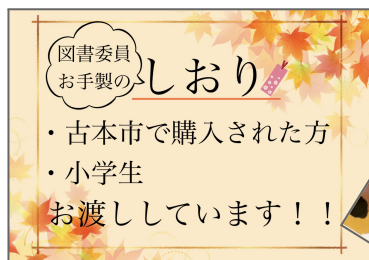


古本市の売り上げは、2日間で合計 45,740円 でした！



この売り上げは全国図書館協議会を通じて大規模災害により被災した学校図書館等の支援に寄付しました。残りの本は、国際NGO活動をしている認定NPOジェン(JEN)「BOOKMAGIC」を通じて買い取ってもらい、今必要とされている世界中の教育支援事業に役立てられるように寄付しました。ご寄託、お買い上げのご協力をありがとうございました。

図書委員の皆さんは準備から片付けまでの活動を自発的に、また協力し合って頑張ってくれたので会期中とても助かりました。ありがとうございました！



図書室内の企画展示テーマは現在「英国」です

企画展示は全集の書棚の上にあります。
奥まで入って見てくださいね。
もちろん貸出OKです！



←図書室サイトは使ってますか？



- 1) iPadでいつでも使える!(校内LANに繋がる時)
- 2) 図書室内の蔵書検索機能(OPAC)が使える!
- 3) 電子図書館(電子ならではの本)がある!
- 4) 読みたい本の予約やリクエスト、問い合わせができる!
- 5) 新聞記事データベース(朝日・読売)にアクセスできる!



アクセスコードは図書室の中にも貼ってあります。皆さんの読書や学習の為に便利なツールです。校内LANが繋がればいつでも利用できる図書室サイトをたくさん使ってくださいね。



図書委員広報班より《本の紹介》

『博士の愛した数式』 小川洋子:著/新潮社 [913/オ]

この作品の名前を聞いたことがある人もいるのではないのでしょうか。家政婦として、元数学者の「博士」の家に働きにきた主人公「私」。実は博士は、すっかり80分しか記憶がもたない人でした。そんな彼にとって数字は彼を表現する言葉であり、毎日靴のサイズや電話番号を聞いてくる博士に戸惑いながらも、2人は少しずつ歩み寄っていきます。

初めて読んだ時は、物語の端々に出てくる数学の美しさに、主人公と同じように圧倒されてしまいました。その内容がどんなものなのかは、読んで確かめてみてください。

『天才の栄光と挫折 数学者列伝』 藤原正彦:著/新潮社 [410/F]

これは、上で紹介した小川洋子さんが『博士の愛した数式』を書くきっかけとなった一冊とも言える本です。ニュートンなど、生きた時代や年齢も違う9人の偉大な数学者の生涯が綴られています。彼らの話を読んでいて思ったのは、偉大な数学者ほど挫折にも直面しているのだということです。

例えば、アンドリュー・ワイルズという、フェルマーの最終定理という3世紀もの間誰も解けなかった定理の証明に挑んだ数学者が出てきます。研究内容を誰にも打ち明けず、7年間周りの好奇の目にさらされながらも、苦闘した末に完全な証明をやり遂げました。

天才と呼ばれる人たちも、見てみると人間じみた生涯を送っていたことが分かり、彼らがぐっと身近に感じられました。
(中3/Iさん)

